

2024 年度日本海洋学会第 1 回理事会議事録

日時: 2024 年 5 月 14 日 (火) 13:30~16:30

場所: Zoom を利用したオンライン開催

出席者: 江淵会長、原田副会長、伊藤監査、神田監査、伊藤(幸)、岩本、大林、岡(顕)、岡(英)、川合、久保川、齊藤、土井、中野、野口、長谷川、安中、渡部、事務局(毎日学術フォーラム: 米岡)

議題

1. 議事録(案)確認 (中野理事)

2023 年度の第 1 回理事会議事録(案) および 2023 年度の第 6 回幹事会の議事録(案) が確認され、承認された。

2. 審議事項

(1) 入退会について (岡(顕)理事)

2024 年 2 月から 2024 年 3 月の入会者(6 名)と退会者(91 名)が承認された。2024 年 3 月末時点の会員数は 1,359 名。

(2) シンポジウムの後援・協賛等について (岡(顕)理事)

後援・協賛等について 2 件、転載許可 1 件の依頼があり、承認された。

(3) 募集・推薦等の依頼 (岡(顕)理事)

公募・推薦 8 件の依頼があり、学会ホームページにて公開、メーリングリストにて配信等の対応がなされたことについて報告された。その他 10 件(郵便物)について報告された。

(4) 2023 年度 任意団体および社団法人の事業報告について (岡(顕)理事)

2023 年度事業報告について提案され、承認された。

(5) 2023 年度 任意団体および社団法人の決算・監査報告について (野口理事)

2023 年度決算・監査報告について提案され、承認された。

(6) 2024 年度春季評議員会および会員集会議事次第について (岡(顕)理事)

2024 年度春季評議員会および会員集会議事次第について提案され、一部修正の上承認された。

(7) 2025 年度春季・秋季大会実行委員会の設置について (安中理事)

2025 年度春季・秋季大会実行委員会の設置について提案され、承認された。

(8) 会費 3 年未納者について (岡(顕)理事)

会費 3 年未納者について確認し、今後、理事会を中心に声かけを行うことになった。

(9) 2024 年度若手研究集会助成について (原田副会長)

集会助成申請 3 件の依頼があり、一部を減額の上承認された。

(10) 2024 年度若手海外渡航援助について (原田副会長)

海外渡航援助 1 件の依頼があり、承認された。

- (11) 青少年のための科学の祭典 2024 の旅費補助について (川合理事)
「青少年のための科学の祭典 2024」の旅費補助を教育問題研究会予算として支出することについて提案され、承認された。
- (12) 環境科学賞の名称変更について (江淵会長)
環境科学賞選考委員会の答申を受け、宇野木環境科学賞への名称変更を検討する方針について提案され、承認された。
- (13) 賞選考委員会の会長委嘱委員について (江淵会長)
各賞選考委員会の会長委嘱委員候補について提案され、承認された。

(14) その他

3. 報告事項

- (1) 会長 (江淵会長)
2024-2027 年度のスケジュール案が提示された。
- (2) 副会長 (原田副会長)
以下について報告された。
- ・学会動向。詳細はニュースレターに掲載される予定。
 - ・国連海洋科学の 10 年への対応。
 - ・科学全分野対象の賞に学生や若手研究者の推薦。
 - ・学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想 (ロードマップ 2023) と日本学術会議・未来の学術振興構想「学術の中長期研究戦略」(旧マスタープラン)への掲載について。
- (3) 会計 (野口理事)
法人用の口座が近日中に開設される予定であることについて報告された
- (4) 集会 (中野理事)
JpGU の月曜日の評議員会および水曜日の会員集会の会場確保、また、学会に参加されない方が会合に参加するための会合名札を申請したことについて報告された。
- (5) 研究発表 (安中理事)
JpGU での海洋学会の共催セッションの報告があった。また 2024 年度秋季大会の開催予定について報告された。
- (6) 編集
- ① JO (齊藤編集委員長)
以下について報告された。
- ・JO(Vol.79(1) から Vol.80(2))の発行状況および Vol.80(3)の発行予定。
 - ・2023 年 1 月から 2024 年 3 月の投稿・受理状況。
 - ・Journal of Oceanography Most Cited Paper Award の二編の受賞が決定したこと。
- ② 海の研究 (久保川編集委員長)
以下について報告された。

- ・2023年度の出版実績。
- ・海の研究33巻1,2合併号を3月15日に発行したこと。
- ・現在の投稿・受理状況は受理論文0編、審査中5編、依頼原稿待ち2編。
- ・33巻3号を7月に発行予定。

③ JOS ニュースレター（岩本編集委員長）

JOS ニュースレター発行状況、及び第14巻1号(2024年6月発行)の発刊に向けた準備について報告された。

(7) 広報委員会（川合理事）

秋季大会では中手会と共同コンビナーとして参加すること、およびJpGUブースでの新企画の取り組みについて報告された。

(8) 海洋観測ガイドライン編集委員会（長谷川理事）

2023年度の活動報告、2024年度の編集委員および活動予定について報告された。

(9) 海洋環境委員会（野口理事）

2024年度の委員会体制、青い海助成事業の成果について報告された。

(10) 海洋環境問題研究会（安中理事）

5/15に総会が開催予定であることについて報告された。

(11) 沿岸海洋研究会（大林理事）

会長および執行部が今年度から変更となったことについて報告された。

(12) 教育問題研究会（川合理事）

5月7日に会合を開き今年度の活動予定等が議論されたことについて報告された。

海のトリビアの再販に向けた議論を再開したことについて報告された。

(13) 海洋生物学研究会（野口理事）

会長、副会長が10月に交代予定であることについて報告された。

(14) 日本海洋科学振興財団（原田副会長）

日本海洋学会に関連する以下の3件(日高論文賞、海外渡航援助、海洋データ同化夏の学校)を実施予定であることについて報告された。

(15) 男女共同参画（野口理事）

第6回輝く女性研究者賞（ジュンアシダ賞）の応募が始まり学会推薦を必要とする場合には連絡していただきたい旨について報告された。

(16) 水産・海洋科学研究連絡協議会（江淵会長）

6月に連絡協議会が開催予定であることについて報告された。

(17) リクルート戦略ワーキンググループ（渡部理事）

Google formにおいて4-5月に合計5件の問い合わせがあったことについて報告された。

(18) その他

- ・西南支部の担当理事について(江淵会長)
大林理事を担当理事とすることとした。

・事務局より会員システムの移行について（事務局）

新システムについて報告された。新システムに6月半ばに移行でログインの番号やurl
が変更となる予定。

以上